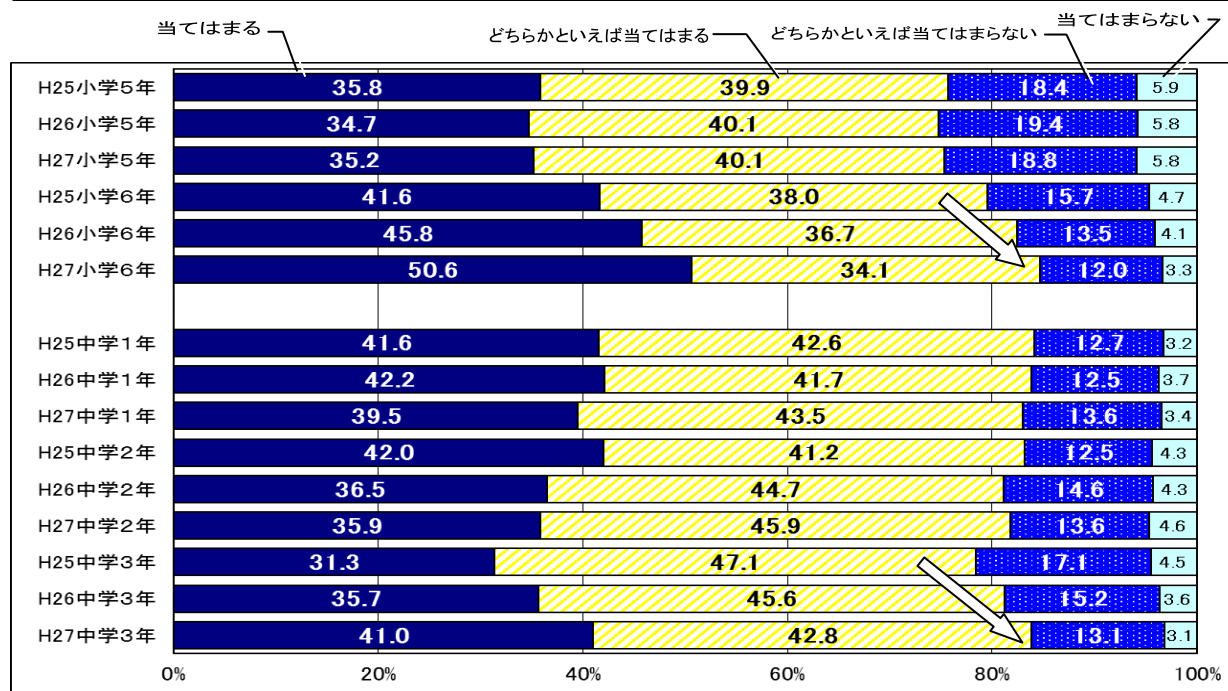


(2) 学習活動に関する意識について

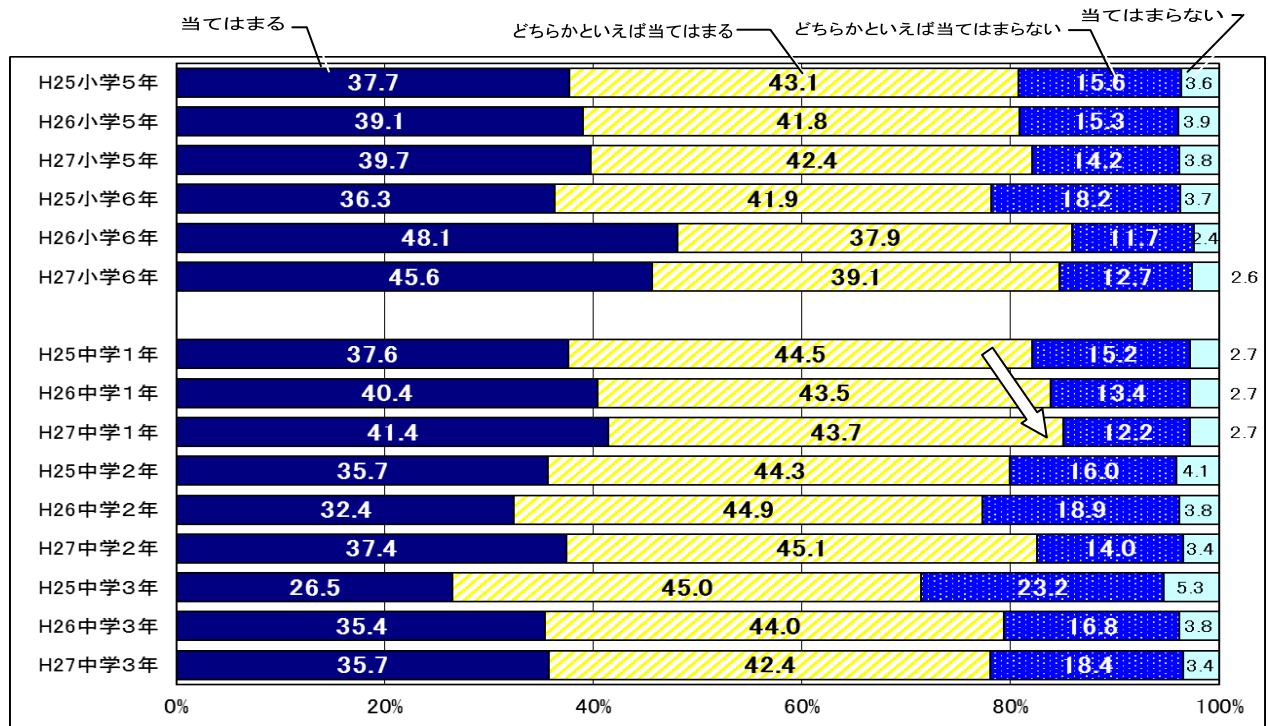
- 「普段の授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思う」という問いについては、小学6年、中学3年で、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加している。「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う」の質問については、中学1年で肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加している。[グラフ 16, 17-1]
- 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」という問いについては、否定的な回答が減少する傾向にあり、前年度より全ての学年で下回っている。[グラフ 18-1]
- 「授業で電子黒板や大型テレビなどが使われるようになって、今までより授業の内容が分かりやすくなった」という問いについては、調査対象の全学年で肯定的な回答をした児童生徒が増加している。また、「そうした授業を受けたことがない」と回答した児童生徒は1%前後まで減少している。
[グラフ 22-1]

[グラフ 16] 普段の授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思う。
平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較

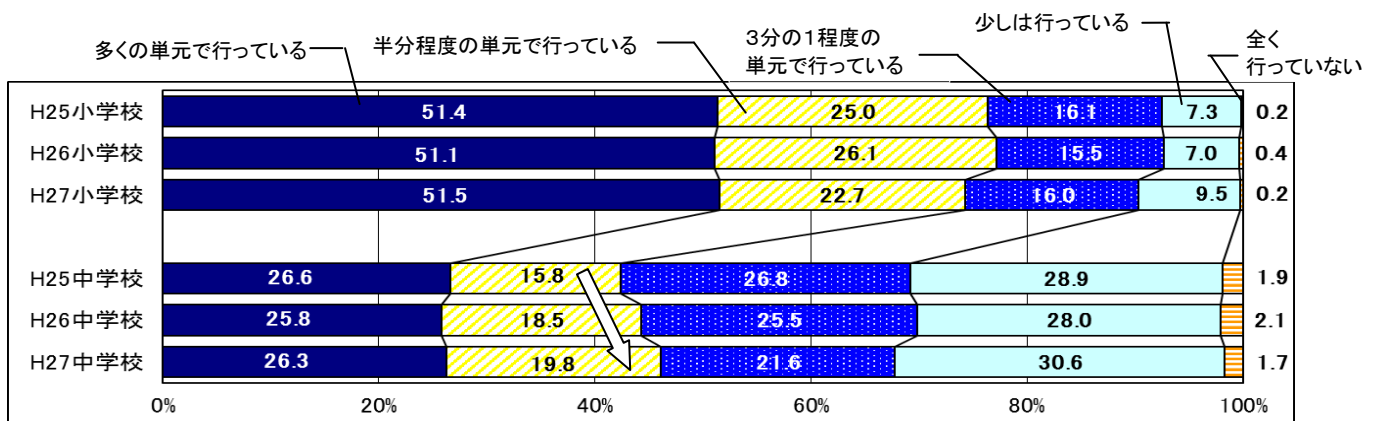


- ・ 「同一学年」の経年比較において、小学6年、中学3年で、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加している。その他の学年では、前年度とほぼ同程度である。[グラフ 12]

[グラフ 17-1] 普段の授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。
平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較



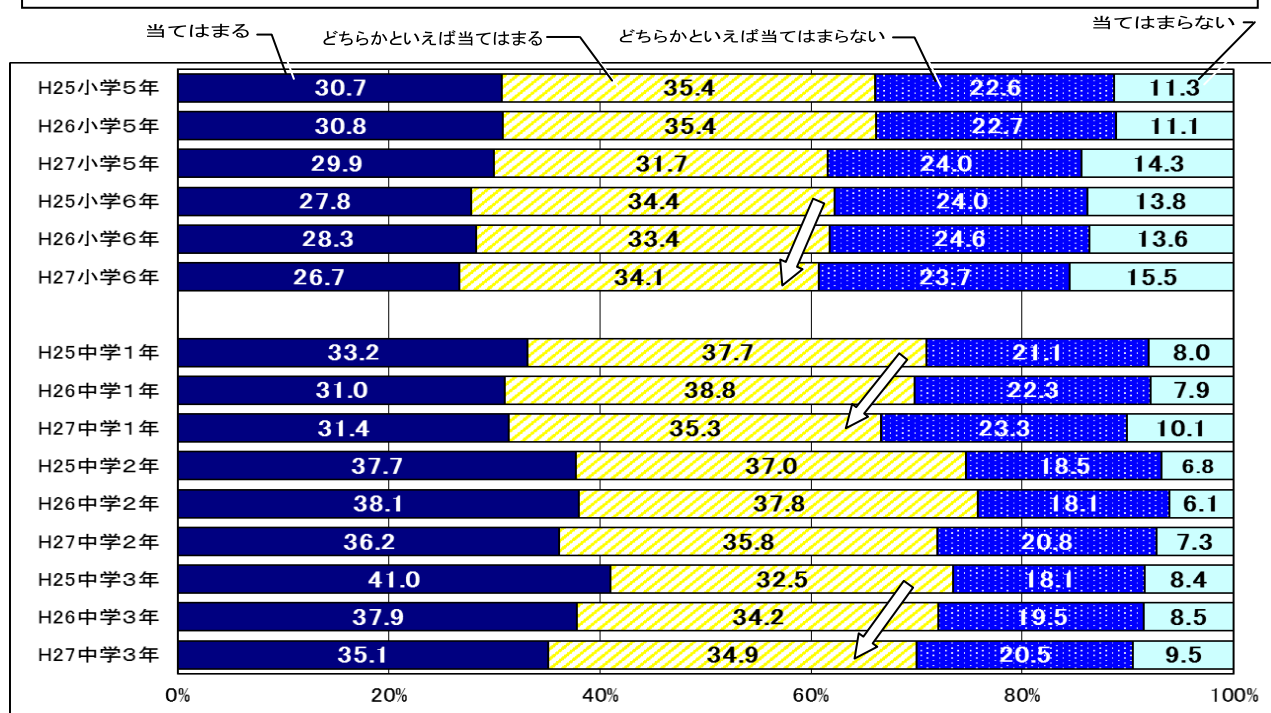
[グラフ 17-2] 発表や話し合い活動など表現し、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れた授業を行っていますか。※教師意識調査より 平成 25～27 年度の経年比較



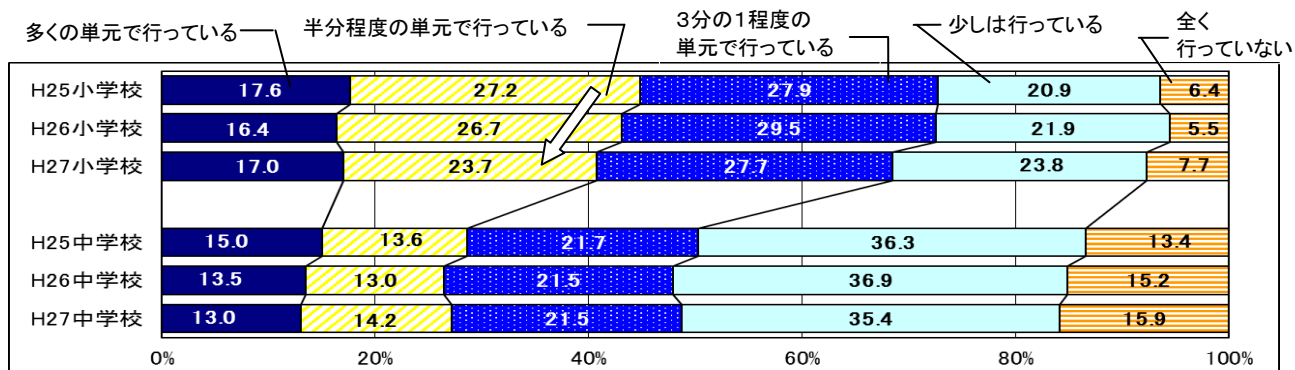
- ・「同一学年」の経年比較において、中学1年で、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加している。その他の学年では、明らかな傾向は見られない。[グラフ 17-1]
- ・教師意識調査では、表現し、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れた授業を「多くの単元で行っている」と回答した教師は、小学校で約 50%、中学校で約 25%であり、大きな変化はない。「半分程度の単元で行っている」と回答した教師は、中学校で増加している。

[グラフ 17-2]

〔グラフ 18-1〕 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい。平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較



〔グラフ 18-2〕 レポートや作文など書いて表現する活動を取り入れた授業を行っていますか。
※教師意識調査より 平成 25～27 年度の経年比較



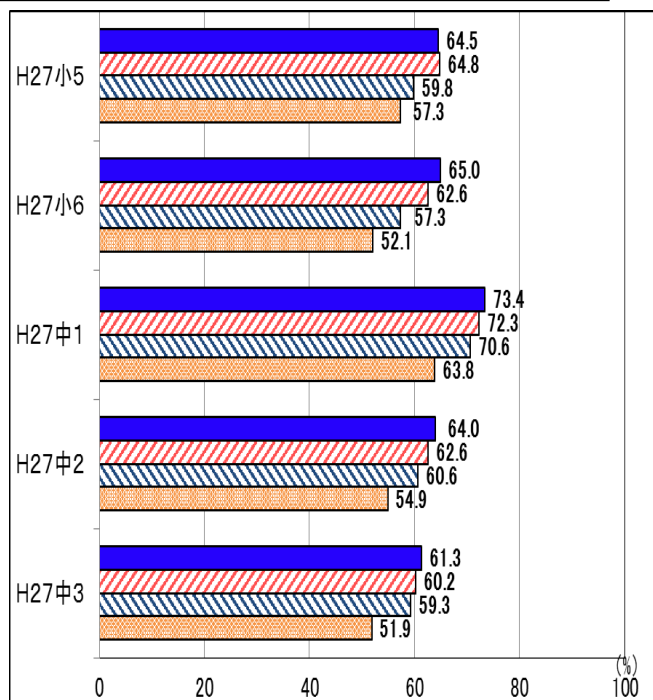
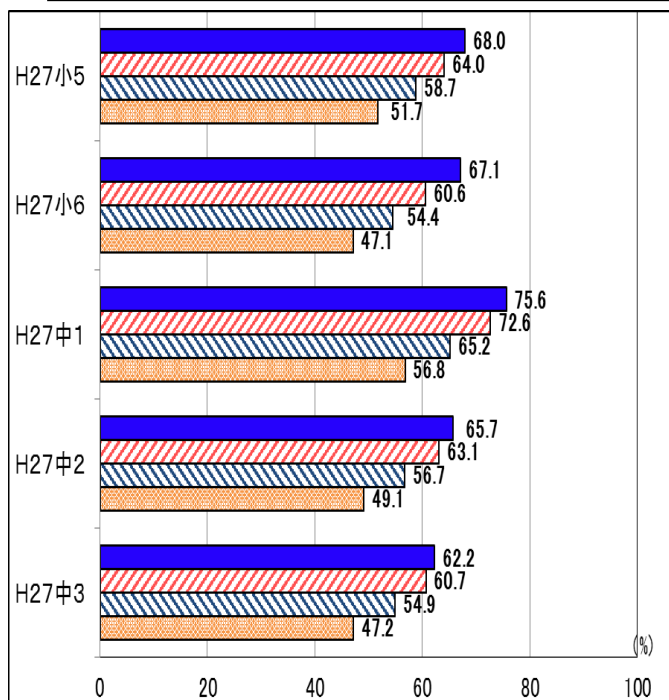
- ・「同一学年」の経年比較において、小学6年、中学1年、中学3年では、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることに難しさを感じている児童生徒の割合が、減少している。小学5年、中学2年においても、前年度と比べると今年度は下回っている。〔グラフ 18-1〕
- ・ 教師意識調査では、レポートや作文など書いて表現する活動を取り入れた授業を「多くの単元で行っている」「半分程度の単元で行っている」と回答した教師は、小学校で約40%、中学校で約30%であり、小学校では、「半分程度の単元で行っている」と回答した教師の割合が減少している。〔グラフ 18-2〕

〔グラフ 19〕 「普段の授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

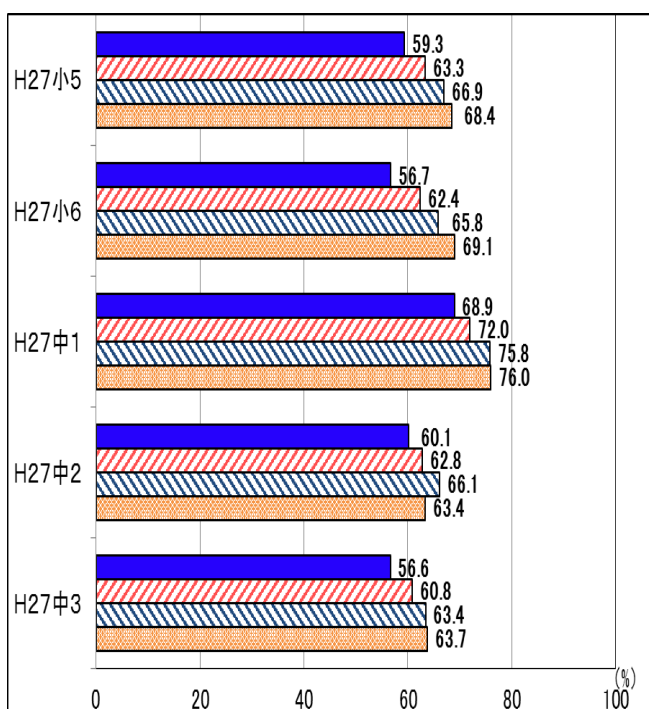
〔グラフ 20〕 「普段の授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

※児童生徒の回答は、上から

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」 の順

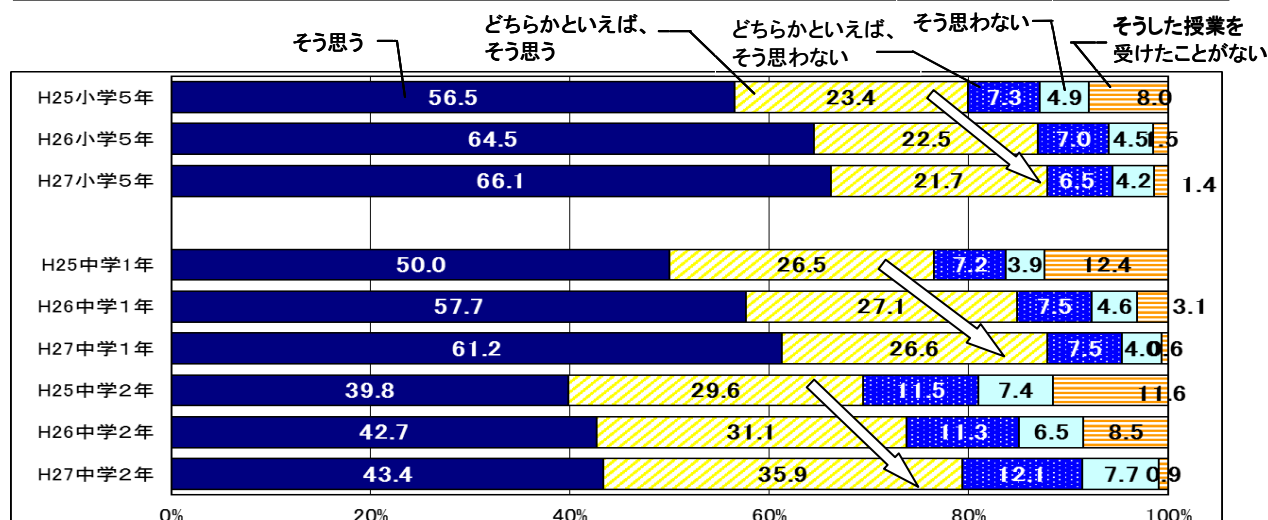


〔グラフ 21〕 「学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

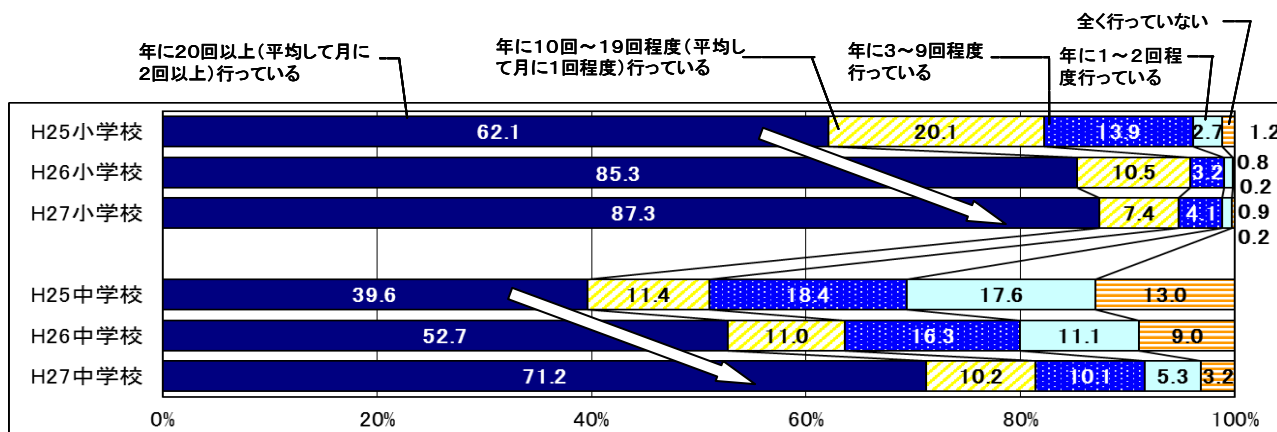


- ・ 「普段の授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思う」という問いについて、肯定的な回答をした児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して高い。〔グラフ 19〕
- ・ 「普段の授業では、話し合う活動をよく行っていると思う」という問いについても、同様の傾向がみられる。〔グラフ 20〕
- ・ 「学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して低い傾向にある。〔グラフ 21〕

〔グラフ 22-1〕 授業で電子黒板や大型テレビなどが使われるようになって、今までより授業の内容が分かりやすくなった。平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較

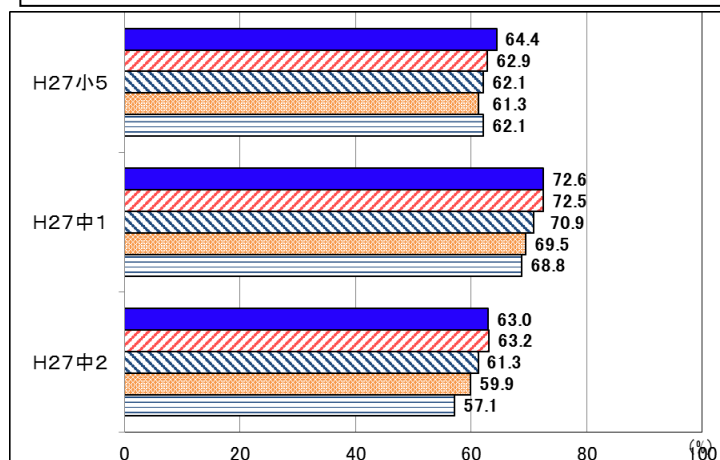


〔グラフ 22-2〕 ICT 機器を活用した授業を行っていますか。
※教師意識調査より 平成 25～27 年度の経年比較



※本調査における ICT 機器とは、コンピュータ、プロジェクター、電子黒板、実物投影機、書画カメラ、児童用学習用 P C、デジタルビデオカメラなどを指す。

〔グラフ 22-3〕 「授業で電子黒板や大型テレビなどが使われるようになって、今までより授業の内容が分かりやすくなった」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



※児童生徒の回答は、上から「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」「そういう授業を受けたことがない」の順

・ 「同一学年」の経年比較において、調査対象の全ての学年で、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加している。また、「そうした授業を受けたことがない」と回答した児童生徒はいずれも学年においても、1 %前後まで減少している。〔グラフ 22-1〕

・ 教師意識調査では、小学校、中学校ともに、「年に 20 回以上行っている」と回答した教師の割合が増加しており、今年度は、小学校で約 9 割、中学校で約 7 割となっている。

〔グラフ 22-2〕

・ 「授業で、電子黒板などが使われるようになって分かりやすくなった」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較してやや高い傾向にある。〔グラフ 22-3〕